

2023 年度（令和 5 年度）

シラバス

スポーツ学科 サッカーコース

履正社国際医療スポーツ専門学校

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	2年 前期	単位数	2 単位
科目名	応接マナー I (面接対策)			講師名	興梠 悦子		
				実務経験			
実務内容							
講義形態	講義	必修・選択の別	必修	分野	一般		
授業概要	卒業と同時に就職できることを目標とし、そのための対策を中心に、ビジネス文書の書き方や話し方、第一印象を良くすることなどを1年生で学習したことを踏まえより習得を深めていく。						
到達目標	ビジネス実務マナー検定3級合格を目指す。						
回数	講義計画						
第1回	オリエンテーション(授業要項、各自目標設定)						
第2回	自己分析・自己理解、自己PRについて						
第3回	就職するとは、就職面接とは						
第4回	履歴書作成						
第5回	模擬面接練習(入室・退室の基本動作確認)						
第6回	ビジネス文書①(書式基本)模擬面接30分						
第7回	ビジネス文書②(社内文書)模擬面接30分						
第8回	サービス接客検定2級対策 模擬面接30分						
第9回	サービス接客検定2級対策 模擬面接30分						
第10回	サービス接客検定模擬2級 模擬面接30分						
第11回	ビジネス文書③(社外文書) 模擬面接30分						
第12回	ビジネス文書④(送付状作成) 模擬面接30分						
第13回	就職面接対策(グループディスカッション)面接30分						
第14回	就職面接対策(グループディスカッション)面接30分						
第15回	振り返り						
テキスト	SIQ協会 医療スポーツ業界のサービス接客&ビジネスマナー						
参考文献							
評価方法	○	筆記試験		小テスト	○	出席率	
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()	
履修上の注意							
備考							

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー	コース	開講時期	2年 後期	単位数	2 単位
科目名	応接マナーⅡ(面接対策)		講師名	興梠 悦子		
			実務経験			
実務内容						
講義形態	講義	必修・選択の別	必修	分野	一般	
授業概要	卒業と同時に就職できることを目標とし、そのための対策を中心に、ビジネス文書の書き方や話し方、第一印象を良くすることなどを1年生で学習したことを踏まえより習得を深めていく。					
到達目標	ビジネス実務マナー検定3級合格を目指す。					
回数	講義計画					
第1回	オリエンテーション(各自目標確認・再設定)					
第2回	就職対策 筆記試験①					
第3回	就職対策 筆記試験②					
第4回	就職対策 筆記試験③					
第5回	就職対策 筆記試験④					
第6回	就職対策 筆記試験⑤					
第7回	サービス接客検定対策2級					
第8回	サービス接客検定対策2級					
第9回	サービス接客検定対策2級					
第10回	サービス接客検定対策2級					
第11回	社交マナー(席次、来客対応、紹介方法)					
第12回	社交マナー(慶事、弔辞)					
第13回	社交マナー お見舞いはがきの書き方					
第14回	振り返り					
第15回	将来の自分を語る					
テキスト	SIQ協会 医療スポーツ業界のサービス接客&ビジネスマナー					
参考文献						
評価方法	○	筆記試験		小テスト	○	出席率
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()
履修上の注意						
備考						

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	2年 前期	単位数	2 単位
科目名	PC応用 I			講師名	上西 忠彬		
				実務経験			
実務内容							
講義形態	講義	必修・選択の別	選択	分野	一般		
授業概要	近年、企業ではWORD・EXCELの操作はできて当たり前。スマホは使えるがPCは苦手という学生が多くなってきている。使えても基本が習得されておらず、PC使用前・使用中・使用後にトラブルの発生が多いように思われる。トラブル発生に至らない使用、またトラブル時の対応を習得し、Word・EXCELを使った目的の文章等の作成にあたって、基本から色々な操作を理解する。						
到達目標	迅速に解かりやすく美しい作品が作成できるようそれぞれに付随した特殊な操作方法を理解してPC検定の資格取得を目指す。						
回数	講義計画						
第1回	パソコンの基本操作						
第2回	文書作成・保存・編集・印刷						
第3回	文書編集 ページ設定・文字の位置・装飾						
第4回	文書編集 段落・文字間行間・定型書式						
第5回	文書編集 表・罫線・図形の利用						
第6回	文書編集 画像・テキストの挿入						
第7回	文書作成機能の利用						
第8回	差し込み印刷の活用						
第9回	文書のひな型の活用						
第10回	複雑な文書作成						
第11回	文書作成の練習						
第12回	文書作成の練習						
第13回	文書作成の練習						
第14回	文書作成の練習						
第15回	文書作成の練習						
テキスト	しっかり学ぶWORD標準テキスト・しっかり学ぶEXCEL標準テキスト(記述評論社)						
参考文献							
評価方法		筆記試験		小テスト	○	出席率	○
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()	
履修上の注意							
備考	プロジェクター・パソコン使用						

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	2年 後期	単位数	2 単位
科目名	PC応用Ⅱ			講師名	上西 忠彬		
				実務経験			
実務内容							
講義形態	講義	必修・選択の別	選択	分野	一般		
授業概要	近年、企業ではWORD・EXCELの操作はできて当たり前。スマホは使えるがPCは苦手という学生が多くなってきている。使えても基本が習得されておらず、PC使用前・使用中・使用後にトラブルの発生が多いように思われる。トラブル発生に至らない使用、またトラブル時の対応を習得し、Word・EXCELを使った目的の文章等の作成にあたって、基本から色々な操作を理解する。						
到達目標	迅速に解かりやすく美しい作品が作成できるようそれぞれに付随した特殊な操作方法を理解してPC検定の資格取得を目指す。						
回数	講義計画						
第1回	EXCELの基本						
第2回	関数の活用(SUM関数)						
第3回	関数の活用(AVERAGE関数)						
第4回	関数の活用(COUNT関数)						
第5回	関数の活用(MAX関数)						
第6回	関数の活用(IF関数)						
第7回	関数の活用(IF関数)						
第8回	関数の活用(ROUND関数)						
第9回	表の編集						
第10回	グラフ機能の活用						
第11回	関数の活用(VLOOKUP関数)						
第12回	データベース機能の活用						
第13回	表作成練習						
第14回	表作成練習						
第15回	表作成練習						
テキスト	しっかり学ぶWORD標準テキスト・しっかり学ぶEXCEL標準テキスト(記述評論社)						
参考文献							
評価方法		筆記試験		小テスト	○	出席率	○
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()	
履修上の注意							
備考	プロジェクター・パソコン使用						

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー コース	開講時期	2年 後期	単位数	2 単位			
科目名	チーム運営簿記 I	講師名	山中 智					
		実務経験						
実務内容								
講義形態	講義	必修・選択の別	選択	分野	一般			
授業概要	実社会における簿記の必要性や習得することのメリットをしっかりと認識し、受験意識の向上を図る。また、簿記を通して社会の成り立ちや企業の仕組みを理解することで、今後の就職活動にも直結して役立つ授業を実施。							
到達目標	11月に実施される日商簿記検定3級合格を目指す。							
回数	講義計画							
第1回	オリエンテーション(授業要項・ルール)							
第2回	簿記の基礎①							
第3回	簿記の基礎②							
第4回	簿記の基礎③							
第5回	現金・預金①							
第6回	現金・預金②							
第7回	現金・預金③							
第8回	商品売買							
第9回	手形							
第10回	有価証券							
第11回	固定資産・その他期中仕訳							
第12回	帳簿・伝票・試算表①							
第13回	帳簿・伝票・試算表②							
第14回	帳簿・伝票・試算表③							
第15回	前期振り返り							
テキスト	TAC株式会社 みんなが欲しかった簿記の問題集 日商2.3級 商業簿記 第9版 TAC株式会社 みんなが欲しかった簿記の教科書 日商2.3級 商業簿記 第9版							
参考文献								
評価方法	<input type="checkbox"/>	筆記試験	<input type="checkbox"/>	小テスト	<input type="checkbox"/>	出席率	<input type="checkbox"/>	実技(実習)
	<input type="checkbox"/>	授業態度	<input type="checkbox"/>	提出物(レポート)	<input type="checkbox"/>	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
履修上の注意								
備考								

2023(令和5) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー	コース	開講時期	2年 前期	単位数	2 単位	
科目名	秘書講座 I		講師名	神谷 敏子			
			実務経験				
実務内容							
講義形態	講義	必修・選択の別	選択	分野	一般		
授業概要	検定試験の内容に限定することなく、敬語の使い方や身だしなみ、コミュニケーション能力の向上等就職活動や就職後の社会生活で活用できることを目的とした授業とする。						
到達目標	6月に実施される秘書検定3級合格を目指す。						
回数	講義計画						
第1回	オリエンテーション						
第2回	ビジネスマンとしての資質/練習問題						
第3回	執務用件/練習問題						
第4回	人間関係・マナー・話し方・交際①/練習問題						
第5回	人間関係・マナー・話し方・交際②/練習問題						
第6回	技能①情報・文書・事務機器等/練習問題						
第7回	技能②情報・文書・事務機器等/練習問題						
第8回	必要とされる資質/練習問題						
第9回	職務知識/練習問題						
第10回	マナー・接遇①/練習問題						
第11回	マナー・接遇②/練習問題						
第12回	技能①/練習問題						
第13回	技能②/練習問題						
第14回	前期総まとめ						
第15回	前期振り返り						
テキスト							
参考文献							
評価方法	<input type="checkbox"/>	筆記試験	<input type="checkbox"/>	小テスト	<input type="checkbox"/>	出席率	実技(実習)
	<input type="checkbox"/>	授業態度		提出物(レポート)		その他 ()	
履修上の注意							
備考	過去問題を使用						

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	2年 後期	単位数	2 単位
科目名	リテールマーケティングⅢ (販売士3級対策講座)			講師名	米谷 侑子		
				実務経験			
実務内容							
講義形態	講義	必修・選択の別	選択	分野	一般		
授業概要	販売士(リテールマーケティング)は、「流通業界で唯一の公的資格」で、業種・業態に関わらず、小売・流通業の成り立ちや店舗運営、販売に必要な商品知識や販売技術、仕入や在庫管理、マーケティングまで、販売のあらゆるノウハウを習得できるビジネス直結型の試験です。5年ごとに資格を更新する制度を設けていることから、講習会等の受講によって知識のブラッシュアップを図ることもできます。						
到達目標	2月に実施されるリテールマーケティング2級合格を目指す。						
回数	講義計画						
第1回	オリエンテーション						
第2回	ストアオペレーションの基本的役割						
第3回	ディスプレイの基本的役割						
第4回	ディスプレイの基本的役割2						
第5回	作業割り当て基本的役割						
第6回	人的販売の基本的考え方						
第7回	小売業マーケティングの基本的考え方						
第8回	顧客管理・販売促進の基本的役割						
第9回	商圏の設定と出店・売り場づくりの基本的考え方						
第10回	商品の基本知識						
第11回	マーチャンダイジングの基本 仕入計画・在庫管理の基本的役割						
第12回	マーチャンダイジングの基本 仕入計画・在庫管理の基本的役割						
第13回	商品計画の基本						
第14回	利益追求の基本知識						
第15回	前期まとめ・振り返り						
テキスト	株式会社キャリアック 販売士ハンドブック基礎編-3級						
参考文献							
評価方法	<input type="checkbox"/>	筆記試験	<input type="checkbox"/>	小テスト	<input type="checkbox"/>	出席率	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	授業態度	<input type="checkbox"/>	提出物(レポート)	<input type="checkbox"/>	その他 (検定試験結果内容)	<input type="checkbox"/>
履修上の注意							
備考							

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー	コース	開講時期	2年 冬季	単位数	2 単位
科目名	リテールマーケティングⅣ (販売士3級対策講座)		講師名	米谷 侑子		
			実務経験			
実務内容						
講義形態	講義	必修・選択の別	選択	分野	一般	
授業概要	販売士(リテールマーケティング)は、「流通業界で唯一の公的資格」で、業種・業態に関わらず、小売・流通業の成り立ちや店舗運営、販売に必要な商品知識や販売技術、仕入や在庫管理、マーケティングまで、販売のあらゆるノウハウを習得できるビジネス直結型の試験です。5年ごとに資格を更新する制度を設けていることから、講習会等の受講によって知識のブラッシュアップを図ることもできます。					
到達目標	2月に実施されるリテールマーケティング2級合格を目指す。					
回数	講義計画					
第1回	前期の振り返り					
第2回	流通における小売業の基本的役割					
第3回	流通経路別流通経路の基本役割					
第4回	形態別小売業の基本的役割					
第5回	店舗形態別小売業の基本的役割					
第6回	チェーンストアの基本的役割					
第7回	商業集積の基本的役割としくみ					
第8回	物流政策の戦略的展開					
第9回	商圈の設定と出店・売り場づくりの基本的考え方					
第10回	販売員の基本業務・法令知識					
第11回	販売事務と計算管理基本的知識					
第12回	売り場の人間関係・店舗管理の基本的役割					
第13回	検定試験模擬試験					
第14回	検定試験模擬試験					
第15回	後期まとめ・振り返り					
テキスト	株式会社キャリアック 販売士ハンドブック基礎編-3級					
参考文献						
評価方法	筆記試験	○	小テスト	○	出席率	実技(実習)
	○	授業態度		提出物(レポート)	○	その他 (検定試験結果内容)
履修上の注意						
備考						

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー	コース	開講時期	2年 通年	単位数	4 単位
科目名	ゼミⅠ・ゼミⅡ		講師名	岡本 憲明		
			実務経験	○		
実務内容	ジュニアスクール、中学、高校でサッカー一部にて監督、コーチとして指導					
講義形態	講義	必修・選択の別	必修	分野	専門理論	
授業概要	「一流を学ぶ」をテーマに、アスリートとしてまた社会人として一流の人たちの物の見方・考え方を参考に自分たちの求める理想像やそれに伴う問題解決の方法を学んでいく。サッカーやその他の一流の人たちの書籍、DVD、ディスカッションを用いる。					
到達目標	研究したことを論文にまとめ、プレゼンテーションする。					
回数	講義計画		回数	講義計画		
第1回	授業ガイダンス・イントロダクション		第16回	ディスカッション(日本人と外国人との優位		
第2回	「一流に学ぶ」		第17回	(日本人監督と外国人監督との優位性)		
第3回	一流選手と自分との比較		第18回	研究及び論文作成		
第4回	一流選手の考え方と取り組み方		第19回	研究及び論文作成		
第5回	外国人選手のプレー分析		第20回	研究及び論文作成		
第6回	一流選手と自分のプレーの比較		第21回	研究及び論文作成		
第7回	一流選手と自分のプレーの比較		第22回	研究及び論文作成		
第8回	他競技の一流アスリートに学ぶ		第23回	パワーポイント作成		
第9回	他競技の一流アスリートに学ぶ		第24回	パワーポイント作成		
第10回	一流選手の条件と理想像		第25回	パワーポイント作成		
第11回	一流選手となるために自分の求めるもの		第26回	パワーポイント作成		
第12回	ゼミ発表までの流れ		第27回	ゼミ発表リハーサル		
第13回	プレゼンテーションについて		第28回	ゼミ発表リハーサル		
第14回	研究テーマ選択		第29回	ゼミ発表会		
第15回	研究テーマ選択		第30回	ゼミ発表の反省・まとめ		
テキスト						
参考文献						
評価方法	○	筆記試験	○	小テスト	○	出席率
	○	授業態度		提出物(レポート)		実技(実習)
履修上の注意	その他 ()					
備考						

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー	コース	開講時期	2年 通年	単位数	4 単位
科目名	ゼミ I・II		講師名	紙本 天平		
			実務経験	○		
実務内容	ジュニアスクール、高校でサッカー部にて監督、コーチとして指導					
講義形態	講義	必修・選択の別	必修	分野	専門理論	
授業概要	現代サッカーの流れと日本サッカーの現状(成果と課題)を把握すること、日本の育成年代の指導における取り組みや課題を学ぶことによって、指導者としての知見を広め、日本サッカーの発展に寄与することを目的とする。また、育成年代における指導理論や指導法に関する研究を行い、論文を作成し、研究結果の発表を行う。					
到達目標	研究したことを論文にまとめ、プレゼンテーションする。					
回数	講義計画		回数	講義計画		
第1回	授業ガイダンス・イントロダクション		第16回	ディスカッション(日本のサッカーについて)		
第2回	指導者の役割について		第17回	ディスカッション(日本のサッカーについて)		
第3回	世界の指導者たち		第18回	研究及び論文作成		
第4回	現代サッカーの流れと日本の現状(成果)		第19回	研究及び論文作成		
第5回	現状サッカーの流れと日本の現状(課題)		第20回	研究及び論文作成		
第6回	日本サッカー育成年代について(U-12)		第21回	研究及び論文作成		
第7回	日本サッカー育成年代について(U-14)		第22回	研究及び論文作成		
第8回	日本サッカー育成年代について(U-16)		第23回	パワーポイント作成		
第9回	日本サッカー育成年代について(女子・キ)		第24回	パワーポイント作成		
第10回	日本サッカークラブにおける指導者の現		第25回	パワーポイント作成		
第11回	日本サッカークラブにおける指導者の現		第26回	パワーポイント作成		
第12回	ゼミ発表までの流れ		第27回	ゼミ発表リハーサル		
第13回	プレゼンテーションについて		第28回	ゼミ発表リハーサル		
第14回	研究テーマ選択		第29回	ゼミ発表会		
第15回	研究テーマ選択		第30回	ゼミ発表の反省・まとめ		
テキスト						
参考文献						
評価方法	○	筆記試験	○	小テスト	○	出席率
	○	授業態度		提出物(レポート)		実技(実習)
履修上の注意	その他 ()					
備考						

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー コース	開講時期	2年 通年	単位数	4 単位
科目名	サッカー実技Ⅴ		講師名	岡本 憲明	
			実務経験	○	
実務内容	ジュニアスクール、中学、高校でサッカー部にて監督、コーチとして指導				
講義形態	実技	必修・選択の別	必修	分野	専門実技
授業概要	技術レベルの向上だけではなく、アジリティー系のトレーニングを多くおこなって、持久性・俊敏性能力と技術を磨く。 1つのポジションでは無く、ポリバリエーションな能力発揮にも重点を置き、今まで経験したことのないポジション変更により、多面的な感覚を身に付ける。				
到達目標	持久性と俊敏性の向上及び様々なポジションを経験することによるポリバリエーション性の向上。				
回数	講義計画		回数	講義計画	
第1回	コーディネーション・個人技術・テクニク		第16回	個人技術・フィジカルトレーニング(筋力)	
第2回	コーディネーション・個人技術・テクニク		第17回	個人技術・フィジカルトレーニング(筋力)	
第3回	コーディネーション・個人技術・テクニク		第18回	フィジカルトレーニング(持久力・スピード)	
第4回	フィジカルトレーニング(筋力・持久力)		第19回	フィジカルトレーニング(持久力・スピード)	
第5回	フィジカルトレーニング(筋力・持久力)		第20回	フィジカルトレーニング(スピード・パワー)	
第6回	フィジカルトレーニング(筋力・持久力)		第21回	フィジカルトレーニング(スピード・パワー)	
第7回	フィジカルトレーニング(筋力・持久力)		第22回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)	
第8回	フィジカルトレーニング(スピード・パワー)		第23回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)	
第9回	フィジカルトレーニング(スピード・パワー)		第24回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～8vs8)	
第10回	フィジカルトレーニング(スピード・パワー)		第25回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～8vs8)	
第11回	フィジカルトレーニング(スピード・パワー)		第26回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～10vs10)	
第12回	個人戦術 攻撃・守備(1vs1～3vs3)		第27回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～10vs10)	
第13回	個人戦術 攻撃・守備(1vs1～3vs3)		第28回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)	
第14回	個人戦術 攻撃・守備(1vs1～3vs3)		第29回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)	
第15回	個人戦術 攻撃・守備(1vs1～3vs3)		第30回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)	
テキスト					
参考文献					
評価方法	筆記試験	小テスト	○	出席率	○
	○ 授業態度	○ 提出物(レポート)		その他 ()	
履修上の注意					
備考					

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー	コース	開講時期	2年 通年	単位数	4 単位
科目名	サッカー実技Ⅵ		講師名	岡本 憲明		
			実務経験	○		
実務内容	ジュニアスクール、中学、高校でサッカー一部にて監督、コーチとして指導					
講義形態	実技	必修・選択の別	必修	分野	専門実技	
授業概要	ボールを扱う技術レベルの向上を目指し、ボールを蹴る、止める、運ぶトレーニングを中心に。ボールを使ったトレーニングでは、ボールコントロール、パスコントロール、シュートコントロールと3つのテーマに分ける。					
到達目標	トレーニングやゲームの中でボールを扱う基本技術を身に付けるよう発展させる。					
回数	講義計画		回数	講義計画		
第1回	テクニック(ボールを蹴る・止める・運ぶ)		第16回	ボールコントロール(パス・トラップ・シュート)		
第2回	テクニック(ボールを蹴る・止める・運ぶ)		第17回	ボールコントロール(パス・トラップ・シュート)		
第3回	テクニック(ボールを蹴る・止める・運ぶ)		第18回	ボールコントロール(パス・トラップ・シュート)		
第4回	テクニック(ボールを蹴る・止める・運ぶ)		第19回	ボールコントロール(パス・トラップ・シュート)		
第5回	テクニック(ボールを蹴る・止める・運ぶ)		第20回	ボールコントロール(パス・トラップ・シュート)		
第6回	ボールコントロール(パス・トラップ)		第21回	ボールコントロール(パス・トラップ・シュート)		
第7回	ボールコントロール(パス・トラップ)		第22回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)		
第8回	ボールキープ(パス・トラップ)		第23回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)		
第9回	ボールキープ(パス・トラップ)		第24回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)		
第10回	ボールコントロール(シュート)		第25回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)		
第11回	ボールコントロール(シュート)		第26回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～10vs10)		
第12回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～4vs4)		第27回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～10vs10)		
第13回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～4vs4)		第28回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)		
第14回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～4vs4)		第29回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)		
第15回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～4vs4)		第30回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)		
テキスト						
参考文献						
評価方法	筆記試験	小テスト	○	出席率	○	実技(実習)
	○ 授業態度	○ 提出物(レポート)		その他 ()		
履修上の注意						
備考						

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー	コース	開講時期	2年 通年	単位数	4 単位
科目名	サッカー実技Ⅶ		講師名	岡本 憲明		
			実務経験	○		
実務内容	ジュニアスクール、中学、高校でサッカー一部にて監督、コーチとして指導					
講義形態	実技	必修・選択の別	必修	分野	専門実技	
授業概要	基本技術レベルの向上だけではなく、アジリティ系のトレーニングを多く取り入れながら、持久性・俊敏性能力と技術を磨く。個人戦術での攻撃と守備の中で数的同数だけでなく、数的不利と数的有利な状況をオーガナイズすることで個人の戦術理解度を高める。					
到達目標	グループ戦術の中でも最善な戦術を共有し、実行できるよう身に付ける。					
回数	講義計画		回数	講義計画		
第1回	アジリティトレーニング・個人技術		第16回	アジリティトレーニング・個人技術		
第2回	アジリティトレーニング・個人技術		第17回	アジリティトレーニング・個人技術		
第3回	個人技術・テクニク		第18回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)		
第4回	個人技術・テクニク		第19回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)		
第5回	個人技術・テクニク		第20回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)		
第6回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～3vs3)		第21回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)		
第7回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～3vs3)		第22回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～8vs8)		
第8回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～3vs3)		第23回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～8vs8)		
第9回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～3vs3)		第24回	グループ戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)		
第10回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～3vs3)		第25回	グループ戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)		
第11回	個人戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)		第26回	グループ戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)		
第12回	個人戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)		第27回	グループ戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)		
第13回	個人戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)		第28回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)		
第14回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)		第29回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)		
第15回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)		第30回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)		
テキスト						
参考文献						
評価方法	筆記試験	小テスト	○	出席率	○	実技(実習)
	○ 授業態度	○ 提出物(レポート)		その他 ()		
履修上の注意						
備考						

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー	コース	開講時期	2年 通年	単位数	8 単位
科目名	サッカー実技Ⅷ		講師名	岡本 憲明		
			実務経験	○		
実務内容	ジュニアスクール、中学、高校でサッカー一部にて監督、コーチとして指導					
講義形態	実技	必修・選択の別	必修	分野	専門実技	
授業概要	守備の基本であるボールを奪うこと、攻撃の基本であるゴールを奪うことをテーマとした対人(デュエル)トレーニングを行う。対人をテーマとしているため、フィジカル強化も重点的に行う。					
到達目標	パワーやスピード、持久力を高めながら、グループ戦術を身に付ける。					
回数	講義計画		回数	講義計画		
第1回	アジリティートレーニング・フィジカル		第16回	アジリティートレーニング・フィジカル		
第2回	アジリティートレーニング・フィジカル		第17回	アジリティートレーニング・フィジカル		
第3回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)		第18回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)		
第4回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)		第19回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)		
第5回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)		第20回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)		
第6回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)		第21回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)		
第7回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)		第22回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)		
第8回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)		第23回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)		
第9回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)		第24回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)		
第10回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)		第25回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)		
第11回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)		第26回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～10vs10)		
第12回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)		第27回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～10vs10)		
第13回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)		第28回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)		
第14回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)		第29回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)		
第15回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)		第30回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)		
テキスト						
参考文献						
評価方法	筆記試験	小テスト	○	出席率	○	実技(実習)
	○ 授業態度	○ 提出物(レポート)		その他 ()		
履修上の注意						
備考						

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	2年 前期	単位数	2 単位
科目名	コンディショニングⅢ			講師名	岡本 憲明		
				実務経験	○		
実務内容	ジュニアスクール、中学、高校でサッカー部にて監督、コーチとして指導						
講義形態	実技	必修・選択の別	必修	分野	専門理論		
授業概要	『体力』と『トレーニング』の基本を学び、知識を深めてから、体力測定の実施を踏まえ、知識と各種測定に関連性を学ぶ。						
到達目標	体力測定の意義を理解し、自己分析することで自分のプレーに生かす。						
回数	講義計画						
第1回	体力とは						
第2回	体力とは						
第3回	トレーニングの進め方(原理・原則)						
第4回	トレーニングの進め方(原理・原則)						
第5回	トレーニングの進め方(処方・ウォーミングアップとウォームダウン)						
第6回	トレーニングの進め方(処方・ウォーミングアップとウォームダウン)						
第7回	トレーニングの種類						
第8回	トレーニングの種類						
第9回	体力・コンディショニング評価法						
第10回	日本人選手のフィジカル特性						
第11回	日本人選手のフィジカル特性						
第12回	シーズンによるコンディショニング①						
第13回	シーズンによるコンディショニング①						
第14回	シーズンによるコンディショニング②						
第15回	シーズンによるコンディショニング②						
テキスト	日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者養成共通科目テキスト【Ⅰ・Ⅱ】						
参考文献	JFAフィジカル測定ガイドライン(日本サッカー協会)						
評価方法	○	筆記試験		小テスト	○	出席率	○
	○	授業態度		提出物(レポート)		その他 ()	
履修上の注意							
備考							

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	2年 後期	単位数	2 単位	
科目名	コンディショニングⅣ			講師名	岡本 憲明			
				実務経験	○			
実務内容	ジュニアスクール、中学、高校でサッカー一部にて監督、コーチとして指導							
講義形態	実技	必修・選択の別	必修	分野	専門理論			
授業概要	『体力』と『トレーニング』の基本を学び、知識を深めてから、体力測定の実施を踏まえ、知識と各種測定に関連性を学ぶ。							
到達目標	体力測定の意義を理解し、自己分析することで自分のプレーに生かす。							
回数	講義計画							
第1回	フィジカルテスト(VMAテスト)							
第2回	フィジカルテスト(VMAテスト)							
第3回	フィジカルテスト(Yo-Yo Intermittent Recovery)							
第4回	フィジカルテスト(Yo-Yo Intermittent Recovery)							
第5回	フィジカルテスト(スプリント30m・50m)							
第6回	フィジカルテスト(スプリント30m・50m)							
第7回	フィジカルテスト(連続5段跳び)							
第8回	フィジカルテスト(連続5段跳び)							
第9回	フィジカルテスト(ロングキック)							
第10回	フィジカルテスト(ロングキック)							
第11回	フィジカルテスト(10m×5シャトルラン)							
第12回	フィジカルテスト(10m×5シャトルラン)							
第13回	フィジカルテスト(ステップ50)							
第14回	フィジカルテスト(ステップ50)							
第15回	まとめ							
テキスト	日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者養成共通科目テキスト【Ⅰ・Ⅱ】							
参考文献	JFAフィジカル測定ガイドライン(日本サッカー協会)							
評価方法	○	筆記試験		小テスト	○	出席率	○	実技(実習)
	○	授業態度		提出物(レポート)		その他 ()		
履修上の注意								
備考								

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー	コース	開講時期	2年 前期	単位数	2 単位
科目名	トレーニングⅢ		講師名	岡本 憲明		
			実務経験	○		
実務内容	ジュニアスクール、中学、高校でサッカー一部にて監督、コーチとして指導					
講義形態	実技	必修・選択の別	必修	分野	専門理論	
授業概要	基本技術レベルの向上だけではなく、アジリティー系のトレーニングを多く取り入れながら、持久性・俊敏性能力と技術を磨く。個人戦術での攻撃と守備の中で数的同数だけでなく、数的不利と数的有利な状況をオーガナイズすることで個人の戦術理解度を高めるとともに、グループ戦術の中でも最善な戦術を共有し、実行できるよう身に付ける。					
到達目標	攻守における個人の戦術理解度を向上させる。					
回数	講義計画					
第1回	フィジカルテスト(VMAテスト)					
第2回	フィジカルテスト(VMAテスト)					
第3回	フィジカルテスト(Yo-Yo Intermittent Recovery)					
第4回	フィジカルテスト(Yo-Yo Intermittent Recovery)					
第5回	フィジカルテスト(スプリント30m・50m)					
第6回	フィジカルテスト(スプリント30m・50m)					
第7回	フィジカルテスト(連続5段跳び)					
第8回	フィジカルテスト(連続5段跳び)					
第9回	フィジカルテスト(ロングキック)					
第10回	フィジカルテスト(ロングキック)					
第11回	フィジカルテスト(10m×5シャトルラン)					
第12回	フィジカルテスト(10m×5シャトルラン)					
第13回	フィジカルテスト(ステップ50)					
第14回	フィジカルテスト(ステップ50)					
第15回	まとめ					
テキスト						
参考文献						
評価方法	筆記試験		小テスト	○	出席率	○
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()
履修上の注意						
備考						

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー	コース	開講時期	2年 後期	単位数	2 単位
科目名	トレーニングⅣ		講師名	岡本 憲明		
			実務経験	○		
実務内容	ジュニアスクール、中学、高校でサッカー部にて監督、コーチとして指導					
講義形態	実技	必修・選択の別	必修	分野	専門実技	
授業概要	基本技術レベルの向上だけではなく、アジリティ系のトレーニングを多く取り入れながら、持久性・俊敏性能力と技術を磨く。個人戦術での攻撃と守備の中で数的同数だけでなく、数的不利と数的有利な状況をオーガナイズすることで個人の戦術理解度を高めるとともに、グループ戦術の中でも最善な戦術を共有し、実行できるよう身に付ける。					
到達目標	攻守における個人の戦術理解度を向上させる。					
回数	講義計画					
第1回	アジリティトレーニング・個人技術					
第2回	アジリティトレーニング・個人技術					
第3回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)					
第4回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)					
第5回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)					
第6回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)					
第7回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～8vs8)					
第8回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～8vs8)					
第9回	グループ戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)					
第10回	グループ戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)					
第11回	グループ戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)					
第12回	グループ戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)					
第13回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)					
第14回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)					
第15回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)					
テキスト						
参考文献						
評価方法	筆記試験	小テスト	○	出席率	○	実技(実習)
	○ 授業態度	○ 提出物(レポート)		その他 ()		
履修上の注意						
備考						

2023(令和5) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー	コース	開講時期	2年 前期	単位数	4 単位
科目名	チーム戦術Ⅲ		講師名	岡本 憲明		
			実務経験	○		
実務内容	ジュニアスクール、中学、高校でサッカー一部にて監督、コーチとして指導					
講義形態	実技	必修・選択の別	必修	分野	専門実技	
授業概要	コーナーキックやフリーキックなどのセットプレーの確認、戦術の確認などの練習を多く取り入れ、週末の試合を想定したトレーニングを行う。					
到達目標	試合を想定したトレーニングの中でチーム戦術を理解する。					
回数	講義計画					
第1回	コーディネーショントレーニング					
第2回	コーディネーショントレーニング					
第3回	コーディネーショントレーニング					
第4回	セットプレー(攻撃)①					
第5回	セットプレー(攻撃)②					
第6回	セットプレー(攻撃)③					
第7回	セットプレー(守備)①					
第8回	セットプレー(守備)②					
第9回	セットプレー(守備)③					
第10回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～9vs9)					
第11回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～9vs9)					
第12回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～9vs9)					
第13回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～9vs9)					
第14回	グループ戦術 攻撃・守備(10vs10～11vs11)					
第15回	グループ戦術 攻撃・守備(10vs10～11vs11)					
テキスト						
参考文献						
評価方法	筆記試験		小テスト	○	出席率	○
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()
履修上の注意						
備考						

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー	コース	開講時期	2年 後期	単位数	4 単位
科目名	チーム戦術Ⅳ		講師名	岡本 憲明		
			実務経験	○		
実務内容	ジュニアスクール、中学、高校でサッカー一部にて監督、コーチとして指導					
講義形態	実技	必修・選択の別	必修	分野	実習	
授業概要	コーナーキックやフリーキックなどのセットプレーの確認、戦術の確認などの練習を多く取り入れ、週末の試合を想定したトレーニングを行う。					
到達目標	試合を想定したトレーニングの中でチーム戦術を理解する。					
回数	講義計画					
第1回	コーディネーショントレーニング					
第2回	コーディネーショントレーニング					
第3回	コーディネーショントレーニング					
第4回	セットプレー(コーナーキック)①					
第5回	セットプレー(コーナーキック)②					
第6回	セットプレー(コーナーキック)③					
第7回	セットプレー(フリーキック)①					
第8回	セットプレー(フリーキック)②					
第9回	セットプレー(フリーキック)③					
第10回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～9vs9)					
第11回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～9vs9)					
第12回	グループ戦術 攻撃・守備(10vs10～11vs11)					
第13回	グループ戦術 攻撃・守備(10vs10～11vs11)					
第14回	グループ戦術 攻撃・守備(11vs11)					
第15回	グループ戦術 攻撃・守備(11vs11)					
テキスト						
参考文献						
評価方法	筆記試験		小テスト	○	出席率	○
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()
履修上の注意						
備考						

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	2年 前期	単位数	2 単位
科目名	ゲーム分析 I			講師名	黒田 雄司		
				実務経験	○		
実務内容	大学サッカー部のコーチとして指導						
講義形態	講義	必修・選択の別	選択	分野	専門理論		
授業概要	現代サッカー界で主流となったゲーム分析システムが日本導入され20年以上たつ、それ以前は手作業(アナログ式)で[VHS/8ミリ]プレーヤー・カメラなどを使用して分析していた。しかし、時代の進歩により分析専用ソフトを使用することで分析作業時間の短縮や、データ蓄積能力などの効率向上により、様々な角度からデータ・情報を客観的に見ることができるようになった。この授業ではゲーム映像から様々なデータを分析・評価しそこから出た課題を競技力向上に活かしていける能力を身に付けることを目指していく。前期はアナログ手作業で行う。						
到達目標	ゲーム分析の過程を学び、データから試合を評価しその後の競技活動に活用できるようになる。①ゲーム②分析③結果④練習⑤ゲームと個人としてチームとして競技力向上に活かせるゲーム分析ができるようになる。						
回数	講義計画						
第1回	オリエンテーション						
第2回	サッカー関係で働くとはどういうことか？						
第3回	海外で働くサッカーの仕事						
第4回	差別とサッカー						
第5回	サッカー文化とは、何か？						
第6回	日本以外のアジアサッカー						
第7回	海外のクラブと日本のクラブの違い						
第8回	女子サッカーについて						
第9回	①リーダーとサッカー「指導と哲学」						
第10回	②リーダーとサッカー「監督とコーチ」						
第11回	③リーダーとサッカー「マネージャー」						
第12回	①自分たちの試合を分析する「攻撃」						
第13回	②自分たちの試合を分析する「守備」						
第14回	③自分たちの試合を分析する「まとめ」						
第15回	前期総括						
テキスト							
参考文献							
評価方法	筆記試験	小テスト	○	出席率	実技(実習)		
	○	授業態度	○	提出物(レポート)	その他 ()		
履修上の注意							
備考							

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー	コース	開講時期	2年 後期	単位数	2 単位
科目名	ゲーム分析Ⅱ		講師名	黒田 雄司		
			実務経験	○		
実務内容	大学サッカー部のコーチとして指導					
講義形態	講義	必修・選択の別	選択	分野	専門理論	
授業概要	現代サッカー界で主流となったゲーム分析システムが日本導入され20年以上たつ、それ以前は手作業(アナログ式)で[VHS/8ミリ]プレーヤー・カメラなどを使用して分析していた。しかし、時代の進歩により分析専用ソフトを使用することで分析作業時間の短縮や、データ蓄積能力などの効率向上により、様々な角度からデータ・情報を客観的に見ることができるようになった。この授業ではゲーム映像から様々なデータを分析・評価しそこから出た課題を競技力向上に活かしていける能力を身に着けることを目指していく。後期は前期からの応用、より多くのデータを出せるようになる。					
到達目標	前期同様①ゲーム②分析③結果④練習⑤ゲームと個人としてチームとして競技力向上に活かせるゲーム分析ができるようになる、また結果的分析ではなくライブ分析ができるようになり、データから出た課題を練習メニューに落とし込むことができるよう目指す。					
回数	講義計画					
第1回	オリエンテーション					
第2回	歴史からシステムを考える					
第3回	マンマーク衰退とゾーンディフェンスの登場					
第4回	コンパクトサッカーの革命					
第5回	プレッシング理論とトータルフットボール					
第6回	ヨハン・クライフについて					
第7回	名将アリーゴ・サッキについて					
第8回	鬼才・ピエルサについて					
第9回	グアルディオラについて					
第10回	現代のマーク					
第11回	日本サッカーが考えなければならない課題					
第12回	サッカー環境と技術					
第13回	①「育成」を考える					
第14回	②「育成」を考える					
第15回	後期総括					
テキスト						
参考文献						
評価方法		筆記試験		小テスト	○	出席率
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()
履修上の注意						
備考						

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	2年 後期	単位数	2 単位
科目名	クラブマネジメント			講師名	梶田 孝史		
				実務経験	○		
実務内容	サッカークラブで指導(審判、集客等マネジメントを行う)						
講義形態	講義	必修・選択の別	選択	分野	専門理論		
授業概要	クラブマネジメントの基本でもあるスポーツ・マネジメントから、マネジメントを体系的に学び、実際にシミュレーションしていく。						
到達目標	知識の習得にのみならず、実際のワーク・課題を通じて「マネジメント力」を養うことを目的とする。						
回数	講義計画						
第1回	自己紹介・クラブマネジメントとは						
第2回	スポーツとは						
第3回	スポーツリーグ産業の人材育成						
第4回	スポーツリーグ産業の構造・特質・リスク						
第5回	スポーツリーグ産業の経営戦略						
第6回	コミュニケーション戦略						
第7回	人事戦略(HRM)						
第8回	選手マネジメント(税務と資産形成)						
第9回	スポーツ・マーケティング						
第10回	顧客の把握とCRM						
第11回	広報とリスク管理						
第12回	メディアトレーニング						
第13回	自治体を知る						
第14回	スポーツ経営のターンアラウンド・マネジメント						
第15回	後期まとめ/振り返り						
テキスト	東洋経済新報社 スポーツ・マネジメント入門〔第2版〕: 24のキーワードで理解する						
参考文献							
評価方法	筆記試験	小テスト	○	出席率	実技(実習)		
	授業態度	提出物(レポート)		その他 ()			
履修上の注意							
備考							

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	2年 前期	単位数	2 単位
科目名	スポーツマンシップ論 I			講師名	梶田孝史		
				実務経験	○		
実務内容	サッカークラブで指導(審判、集客等マネジメントを行う)						
講義形態	講義	必修・選択の別	必修	分野	専門理論		
授業概要	現代社会には多くの問題が存在します。様々な問題に共通する原因の多くは「人」にあることです。そして、このような人間自身の問題を解決するために最も重要なのが「教育」だといえます。その教育に必要なものがスポーツマンシップ教育であるため、それを学ぶ。						
到達目標	スポーツ本来の価値を見直し、スポーツマンシップを理解し実践することを通して、よりよき人を育み、よりよき社会づくりに貢献していく意思を育てる。						
回数	講義計画						
第1回	オリエンテーリング						
第2回	DVD鑑賞(レポート)						
第3回	第1章-1 スポーツとはなにか						
第4回	第1章-2 スポーツとはなにか						
第5回	第2章-1 スポーツマンとはどんな人か						
第6回	第2章-2 スポーツマンとはどんな人か						
第7回	グループワーク						
第8回	第3章-1 スポーツマンシップとはなにか						
第9回	第3章-2 スポーツマンシップとはなにか						
第10回	第4章-1 尊重とはなにか						
第11回	第4章-2 尊重とはなにか						
第12回	グループワーク						
第13回	第5章-1 勇気とはなにか						
第14回	第5章-2 勇気とはなにか						
第15回	前期まとめ/振り返り						
テキスト							
参考文献							
評価方法	○	筆記試験		小テスト	○	出席率	
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()	
履修上の注意							
備考							

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	2年 後期	単位数	2 単位
科目名	スポーツマンシップ論Ⅱ			講師名	梶田孝史		
				実務経験	○		
実務内容	サッカークラブで指導(審判、集客等マネジメントを行う)						
講義形態	講義	必修・選択の別	必修	分野	専門理論		
授業概要	現代社会には多くの問題が存在します。様々な問題に共通する原因の多くは「人」にあることです。そして、このような人間自身の問題を解決するために最も重要なのが「教育」だといえます。その教育に必要なものがスポーツマンシップ教育であるため、それを学ぶ。						
到達目標	スポーツ本来の価値を見直し、スポーツマンシップを理解し実践することを通して、よりよき人を育み、よりよき社会づくりに貢献していく意思を育てる。						
回数	講義計画						
第1回	DVD鑑賞(レポート)						
第2回	第6章-1 覚悟とはなにか						
第3回	第6章-1 覚悟とはなにか						
第4回	第7章-1 なぜルールがあるのか						
第5回	第7章-2 なぜルールがあるのか						
第6回	グループワーク						
第7回	第8章-1 スポーツマンシップという原理原則						
第8回	第8章-2 スポーツマンシップという原理原則						
第9回	第9章-1 たかがスポーツ、されどスポーツ						
第10回	第9章-2 たかがスポーツ、されどスポーツ						
第11回	DVD鑑賞(レポート)						
第12回	第10章-1 すべてはプレイヤーのために						
第13回	第10章-2 すべてはプレイヤーのために						
第14回	グループワーク						
第15回	前期まとめ/振り返り						
テキスト							
参考文献							
評価方法	○	筆記試験		小テスト	○	出席率	
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()	
履修上の注意							
備考							

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー	コース	開講時期	2年 前期	単位数	2 単位
科目名	スポーツコーチング論Ⅱ		講師名	権藤 弘之		
			実務経験	○		
実務内容	スポーツ関連企業にてトレーナーとして指導					
講義形態	講義	必修・選択の別	選択	分野	専門理論	
授業概要	スポーツ指導者として、スポーツの定義や基本的人権を把握し、さらにはスポーツ事故に対する責任と正しい対応や障がい者に向けた指導方法など現代社会において多様な発展がみられるスポーツの役割と期待について学び、スポーツの持つ意義と価値を理解する。					
到達目標	社会とスポーツという観点からスポーツの役割と意義、価値などを学び、実際の指導現場で活かす。					
回数	講義計画					
第1回	スポーツの意義と価値①【1-⑥】					
第2回	スポーツの意義と価値②【1-⑥】					
第3回	スポーツの価値を守るスポーツ権【1-⑦】					
第4回	スポーツの自治【1-⑧】					
第5回	暴力・ハラスメントの根絶①【1-⑨】					
第6回	暴力・ハラスメントの根絶①【1-⑨】					
第7回	スポーツのインテグリティ【1-⑩】					
第8回	スポーツのインテグリティ【1-⑩】					
第9回	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任【1-⑪】					
第10回	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任(注意義務)【1-⑪】					
第11回	スポーツ仲裁【1-⑫】					
第12回	スポーツ倫理【1-⑬】					
第13回	障がい者とスポーツ①【3-④】					
第14回	障がい者とスポーツ②【3-④】					
第15回	まとめ/振り返り					
テキスト	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book					
参考文献						
評価方法	○	筆記試験	○	小テスト	○	出席率
	○	授業態度		提出物(レポート)		その他 ()
履修上の注意						
備考						

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	2年 後期	単位数	2 単位
科目名	スポーツマネジメント論			講師名	権藤 弘之		
				実務経験	○		
実務内容	スポーツ関連企業にてトレーナーとして指導						
講義形態	講義	必修・選択の別	必修	分野	専門理論		
授業概要	地域や人々が期待するスポーツを広めて行く上で欠かせない様々なスポーツ環境整備のために必要なスポーツマネジメントについての具体策を学ぶ。						
到達目標	学習した知識をもとに自らが実践に生かせるマネジメント能力を高める。						
回数	講義計画						
第1回	スポーツマネジメントの領域と特性						
第2回	スポーツ組織の持続可能性【3-③】						
第3回	「目的」のマネジメント【3-③】						
第4回	「補完」のマネジメント【3-③】						
第5回	地域におけるスポーツ振興方策と行政						
第6回	総合型地域スポーツクラブの必要性和社会的意義						
第7回	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任①【1-⑪】						
第8回	スポーツ仲裁【1-⑫】						
第9回	地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」①【3-③】						
第10回	地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」②【3-③】						
第11回	スポーツ少年団の活動分野と内容【3-③】						
第12回	日本スポーツ少年団と総合型クラブとの連携・協働【3-③】						
第13回	スポーツ指導者に求められるマネジメント【3-③】						
第14回	スポーツ組織の特性【3-③】						
第15回	まとめ						
テキスト	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book						
参考文献							
評価方法	○	筆記試験	○	小テスト	○	出席率	実技(実習)
	○	授業態度		提出物(レポート)		その他 ()	
履修上の注意							
備考							